

## 第二章 「お金の使い方トレーニング」

= 使い方を変えるだけで、どんどん幸せがやってくる =

### ● 「年収 2000 万円で貯金 0」と、

「年収 400 万円で貯金 2000 万円」どっちが金持ち？

年収が高いとお金持ち！ なんて思っていませんか？ 思っていないければ結構です。でも、年収が高いと貯金も多いはず、なんて思う人も、とても大勢います。

“お金持ちとは、年収が高いではありません！”

“お金持ちとは、お金を持っている人ですっ！”

上の場合、お金持ちは当然貯金のある方です。

年収 2000 万円といえば、平均的には高い方の部類です。国税庁が発表する統計で見ると、平均給与は年収 400 万円台ですから、奥さんが少々パートで働いていても、世帯年収 5~600 万円の家庭がほとんどですし、大手企業のサラリーマンでも管理職になっていなければ、定年退職前の 50 代で年収 800~1000 万円くらいなら良い方です。

それが 30 代の DINKS 世帯、すなわち、ご主人正社員年収 600 万円で、奥さんも正社員年収 400 万円、世帯年収 1000 万円。このような 30 代の家庭も高収入の世帯で結構いらっしゃいます。でも共働きで余裕があるからと、そして、家事の時間が取れないから外食が多くて、さらには、自動車二台を持って経費もかさんでいるし、さらにさらに、住宅ローンが大きくて教育費も多いとなると、高収入世帯なのに貯金が全く出来ない！ という家庭も少なくありません。

女性向け雑誌、その中でも、カッコイイ若パパ若ママ世代を対象にした雑誌が数多くありますが、そんな雑誌の生活をしてみようすると世帯年収 1000 万円ではとても苦しくて貯金なんて出来ません。

独身OLの貯金が多い！　このような雑誌記事が時々あります。若い女性向けの雑誌や結婚情報誌などの結婚前の貯金額のアンケート調査です。貯めているOLと貯められないOLは何が違うか知っていますか？　これ、勤めている会社や職種じゃありません。

“独身OLが毎月使えるお小遣いは、職業ではなく、住居形態で決まる！”

独身OLの給料は、業種によって差があるとはいえ、数万円。しかし、親の家に住んでいるかそれとも賃貸ワンルームに住んでいるか、こちらの方が差が大きい。だからOLのお小遣いは、職業ではなく住居で決まる、あとはそれを貯金するか使ってしまうかの違いです。

住居費がかからないか、あるいは、わずかで、将来のために貯金しようと思っている人は、勤続10年そこそこで、貯金2000万円なんて珍しくありません。少し前の住宅販売が落ち込んでいた時期にも、アラフォー女性向けのマンションだけは結構売れている、なんていう記事を見ませんでしたか？　同じように、不景気の中でも、独身女性向けのマンション販売絶好調、なんていう記事もありました。

もう一度お聞きます。「年収2000万円で貯金0」と「年収400万円で貯金2000万円」どっちが金持ちですか？ → もちろん後者です。

でも、マンションを買ったら、貯金がなくなります。

そう、実は上の質問は意地悪な質問なのです。年収2000万円で貯金0、と言っても、賃貸の人もいれば、多額のローンを払って家計キチキチの人もいる。教育費や生活費がかかって貯金が無い人もいれば、不動産という資産に変換させたという人も入っています。

ただ、貯金が生活費に消える人もいれば、不動産という資産に変わる人もいますから、“アナタの資産価値”を総合的に見る場合には、家計の収支意外に資産も同時に見なければいけません。

（“アナタの資産価値” =自分自身の決算書については金トレ10で取り上げます。）

ここで私が最も言いたいのは、貯めたあと使う、すなわち、貯金があるから幸せなのではなく、貯金を使ったから幸せになれる、ということです。幸せになるポイントは、上手く使ったか、何となく消えてしまったかの違い、なのです。

## ●退職金が100万円多かったら、その分だけ幸せを実感できる？

世の中ほとんどの人がフロー型人間だと書きましたが、この人達は、“どんな時でも収入の範囲で何とかやりますよ”を優先するタイプです。このタイプの最大の弱点は、生活が収入に左右される事です。それが楽しい時もあれば、苦しい時もある。とりわけ、給料ダウンはもの凄く衝撃的に苦しくなります。まだまだ、実力主義だとか言いつつも、年齢と共に給料が上がるところがほとんどです。年功序列賃金が残っている会社。で、55歳とか58歳とかで役職定年なんていう制度が残っています。自動的、給料ダウン！ ですね。

あるいはもし、サラリーマン時代に、「今月から残業カットで収入5万円減」という経験があって、この時、とんでもなく苦しかった人は、要注意です。なぜなら、現役から夫婦ともに65歳の年金生活に至るまでに収入がころころ変わることからです。家計設計が大変です。「今月は10万、その後4万ダウンでその次は2万円アップ」、こんな感じです。

望んだ望まなかつたにかかわらず、余程会社の経営がおかしくない限り、ほとんどのサラリーマンは、「来月の給料もらえるかな」とか、「来年どうなっているだろう」と不安になった人は少ないと思います。もちろん、企業合併やリストラが大流行ですから、全くの無防備と言う事は少ないかもしれませんのが少なくとも、来年の今頃は収入が半分以下になっている、などと考える人は少ないと思います。

でもこれが、今の若い人では違います。

まず就職できずにバイト生活、あるいはすぐに転職。正社員のハードルが高くなりすぎたために、かわりに、非正規においてはハードルが非常に低くなっています。そのため、「来年の今頃、収入無いかも」という不安をすぐに抱えていたりします。でも、だからといって、彼ら彼女らが不幸かと言われると意外とそうでもありません。

そういう点においては見習うべき考え方が多いように思っています。ひょっとしたら、もの凄くこぢんまりしてるけどもとても満足な生活を送っていたりするのではないかとか。これを展開すれば、早期リタイアして、収入は少ないながらも、悠々自適な人も結構いるのではないか、と想像しています。

実は、このような人の方が、100万円を実感できて上手く使えるかもしれない、とさえ思っています。少なくとも「退職金が、2000万円か2500万円くらい」と500万円の差が実感出来ずに無駄に使ってしまう人よりも、悠々自適になるのはほぼ間違いないありません。（ここ、大事なポイントです。お金の額に関係ないです。）

## ●幸せは、お金の額より「使い方」で決まる

“どこに行くかより、誰と行くか”が大事！

旅行でも、ファミレスでも高級レストランでも、はたまた仕事の出張であっても、「どこへ」より「誰が」の方が大事だという経験を皆さん持っておられると思います。お金の使い方も、10万円使ったから、20万円だったから、随分張り込んだから——このような金額だけで物事を評価する人は少ないと思います。

でも本当でしょうか？

- ・北海道で、ラベンダー畑を見てきた、それはそれは、見渡す限りで凄かった
- ・北海道に行ってきた、旅行費用ちょっと豪華にして夫婦で100万円

どっちが凄いですか？

くどくど説明されるよりも、金額で示された方が、「それは凄い！」と思う事は私もよくあります。幸せも同じですよね。高額だったから良かった、とは限りません。たま～に、やたらと金額を主張している、はしたない不作法者もいますが、普通の皆さんには、お金と幸せは比例しない事を知っていると思います。でも一方で、「もっとお金があったらなあ」とも思っているはずです。これがお金の魔力ですね。

老後に備えて、4000万円貯めました！—— じゃあこれを、どう使いますか？

将来が不安だからと使わずにいれば、それは宝の持ち腐れ。使えなければ、貯金が100万円の人と生活は同じです。上手く使えた方が豊かです。上手く使うとは、捨て金じゃなく活きた金を使うということ。お金の価値は、何に使うか、どこで使うか、いつ使うか、誰と使うか、いろんな場面で価値は変わります。その例を見てみましょう。

## ● 「パチンコ・競馬の1万円」と「一緒に食事どう？の1万円」

同じ一万円でも価値が変わる簡単な例です。

「パチンコ・競馬」で使った一万円と「一緒に食事でもどう？」で使った一万円。価値が違いますよね。前者は単にギャンブル。儲かったとかハズしたという興味と興奮剤としての一万円で、後者は、相手を気遣い、自分のアピールとして、または、ねえねえ話聞いてくれないか？　のお誘いの一万円。

もちろん、娯楽としてのギャンブルが全く無意味だとは私も思っていません。これも人によります。ちょっと時間があったんでパチンコですったという人と、昔からパチンコが趣味で、「海物語、初期バージョンから語れるよ」、なんていう情熱のある人とでは同じ1万円でも価値が違うでしょう。

価値が変わる、他の例もあります。

子どもが学生から社会人になって初めての給料でくれたお年玉一万円なんて、普通の一万円とは違うでしょ。この一万円札は絶対に使わないとか、大事に取っておいたりしませんか？

あるいは、知らない土地でついうっかり財布を落としてしまって途方に暮れているときにその財布に入っていた一万円や、その時、親切にも見ず知らずの方から差し出された一万円。これもいつもの一万円とは価値が違います。

“一万円は一万円”でも、それは時と場合によって価値が全く変わるので。価値が変わることを知っていれば上手く使えるようになります。逆に、1万円を上手く使

えない人は、100万円も上手く使えません。1000万円なんて想定外です、上手く使えるわけがありません。

## ●使い方を「ほんの少し」変えるだけで、幸福度がアップする

私は、大学を卒業して16年ほど会社員勤めをしていました。その頃の数ある後悔の一つに「無駄な酒を呑んだな」というのがあります。

“ちょっと一杯”

元々嫌いではないので、誘われればよく行きましたし自分からも誘いました。でも今考えると、毎回毎回、同じような所に行って、同じような愚痴や文句を吐き出していただけだな、あれはもの凄く力も時間も無駄だったな、と思っています。

いつもと同じ店で、いつもと同じような不満を口にする—— 一体自分にとってどんな良い事があったのか。何かメリットがあったのか？ せめて毎回違う店に行っていたなら、少しは違った可能性があります。

「あっ、この店とってもイイ。今度、誰かを連れてこよう」とか、

「へー、こんな地方料理もあるんだ、今度是非、本場に行って食べてみたい」、なんていう興味と雑学が増えたかもしれません。

「いつもの2倍の力を使えば、料理も雰囲気もこんなに違うんだ」という発見があったでしょう、こういうチャンスをみすみす無駄に使ってしまったな、という後悔です。

でも、この後悔は、いろいろな場面で使えることに気づきました。

いつも惰性で買ってしまう雑誌—— ときめきが無くなつて、またこれか、などと思うのなら、別の心が動きそうな雑誌を買った方が良いし、

毎年のイベント、例えば、クリスマス。いつもと一緒にドキドキわくわく感がなくなってきたら別のドキドキわくわくを考えたらいい、

「今日も、おんなじように会社に行って同じように仕事して——」、違います。同じ毎日はありません。確かに、仕事でいつもドキドキわくわく出来る人は相当に恵まれた人だと思います。でも、仕事自身に・仕事の合間に・同僚の会話の中に・通勤の中に—— どこかにいつもとは違う所を発見する・ドキドキできること、できそうなことに時間とお金を使う事。大それたことではありません。ひとつ手前の駅で降りて歩いて帰るとか、一本違う道を通ってみるとか、そんなことの積み重ねです。

小さな変化を見逃さない、これは結構簡単でもあり難しい事もあります。精神が病んでいる時にはなかなか出来ません。だからこそこういう感性を無くさないようにしておく事、これが、幸福度アップに繋がります。だって心が健全じゃないと、良い事でさえ良い事と受け取れませんから。

これ、一回二回は簡単にできます。でも、何年も何十年も持続し続けるのは結構難しいことです。老後は 20 年とか 30 年とかあります。

些細な発見を見つける努力！ これ自体はお金が掛かりません。そのチャンスのために、金を使うようにする。いつもと違う店に行く、少しだけ変わったものを買う、こんなほんの少し使い方を変えるだけでチャンスが生まれきます。それを感じ取れれば間違いなく幸福度はアップします。

「髪、切った？」、こういう変化に気づいて、言って貰えると嬉しいの一緒です。

1 本 500 円のワインと 1 本 2000 円のワインの違いが分かってこそ、1 本 1 万円のワイン、1 本 10 万円の味が分かる。…… これ経験値です。その人の感受性。でも、大抵の人は忙しすぎてそんな違いが分からないから、「お勧めのワイン」とか「一番高いワイン」とかを選んで自己満足。（←これはこれで全否定しませんが。）

私が昔、愚痴ばっかりの「無駄な酒を呑んだな」、この後悔と同類です。

せっかく使ったお金は、しっかり自分の経験値に役立てて欲しいなあと思います。経験値を獲得してこそ、感受性が豊かになって、わくわくドキドキが増幅します。

だからお金の価値を大きくさせようと思ったら、感受性を高める事、しかもこれを老後もずっと維持する事。これは結構、難しくもあり、逆に楽しい事でもあります。

## ▲金トレ 5 ▼

### 一億円あっても「老後貧乏」 これからの可能性を考えよう

#### ●貯蓄額（ストック）が大きいほど、あらゆる可能性が増大する

繰り返しになりますが、第一章の冒頭で、高級車が買えた人は、（1）頭金を作った人か、（2）フローが十分にあった人のどちらかであると書きました。

フロー、つまり、ここでは収入のことですが、これはそう簡単に一割二割も増やせません。二倍三倍なんて絶対無理です。だから庶民が出来るのは頭金というストックを作る事ですね。

高級自動車の頭金は単なる一例ですが、このストックが大きいという事は可能性が増えるという事でもあります。頭金が一杯あるから、高い車や高い家が買える。高いモノを買っても月々の支払いを抑えられるわけで、頭金が無ければ、組めるローンぎりぎりの家が最大限度になります。

多くの人は、将来の不安から貯金をしています。病気やケガはもちろん、老後の不安。年金の将来なんて誰も信じていません。いつか破綻して支給開始が今よりもっと遅くなるとか、年金額が三割くらい減るんじゃないかとか、本当に年金ゼロになっちゃうんじゃないだろうかとか、介護状態・寝たきりになったらお金がかかりそうだなあとか、みんな思っています。

では、老後いくらあつたら安心でしょうか？

これ実は、一億円あっても不安な人は不安だし、1000万円で十分安心な人もいるし、人それぞれなのです。

丁度、年収と同じです。世の中には年収2000万円の人も大勢います。例をあげると大企業の役員クラスで部下数百人の管理職ならこれくらいの年収の人も大勢います。一方で、世の中の平均は、年収400万円。熟年成人男性なら年収700万円くらいが標準でしょうか。

それぞれのグループの中では、皆さんそれなりに幸せなのです。でも、年収 700 万円の人が 400 万円になったり、年収 2000 万円の人が 700 万円になったりしたら、もの凄く侘びしくなります。しかし、だからといって、普段、自分より高い年収の人をそんなにも羨ましいとは思いません。

これと同じで、老後資金一億円あっても不安な人は不安だし、1000 万円で十分安心な人もいます。老後いくらあつたら安心かなんて自分で答えを見つけるしかありません。丁度、コーヒー一杯が、ホテルなら 1000 円、ファストフードなら 200 円。お金を出せる人もいれば、絶対出す気にはなれない人もいる、というのと同じです。

余裕のある老後にするために大事な、でも、ごく当然の事実があります。

現役時代の収入が、退職後は激減です。ここだけ見れば、そりや毎日の生活が苦しくなるのは当然です。

特に最近、退職金と定期預金の利率！ 預金利息が付かない！

退職すると多くの会社では退職金という、まとまったお金が支給されます。

平成ひと桁の頃、貯金の利率は 6 % くらいありました。その前だともっと上です。この頃の定期預金は、10 年預けておくと 2 倍になりました。これ、凄い事です。なぜかというと、退職金のうち、“すぐに使わない 1000 万円を定期預金にしておけば 10 年後、2 倍の 2000 万円” になっているからです。年間 100 万円相当ですから、かなり生活に余裕が出来ますよね。

収入が減っても、その時その時に、収入に応じた生活が何の苦労なくできるのならば全く問題はありません。収入が減りそのため貯金が減っていく——この時、多くの人は金銭的ストレスをかかえ、時には苦痛さえ感じ、酷い場合にはこのストレスはやがて家庭崩壊にまで発展します。

貯金が多いと、可能性は増えます。でも将来の計画をライフプランという形で具体化しないと、いくら可能性が多くても発揮できません。苦しい家計でどんどん貯金が減る不安に怯える人生になってしまいます。せっかくの可能性が発揮できないなら、それはつまらない人生、それも、可能性があるのに捨ててしまうもったいない人生です。

どんな可能性を具体化させるのか、これが悠々自適な老後の第一歩であります。

## ● 1億円の貯金でも「半分に減った」と思った瞬間、老後貧乏へ

どんな人でも、収入がもう少し、できれば二割くらい増えたら嬉しいのにと思っているはずです、金額によりません。それと同じように、貯金残高が一億円だろうが1000万円だろうが、100万円だろうが、「随分、貯金が減ったなあ」と思った時に老後貧乏がやって来ます、これも金額によりません。

定年退職前の月給が50万円。再雇用で20万円。生活費を多少切りつめたとしても、赤字が25万円。この生活を5年間続けると、25万円×5年分で1500万円が必要です。退職時の現金が3000万円だったとして、5年間で1500万円無くなると、「たった五年で、半分になった！ しかも再雇用で働いているのに」こう思った瞬間、残りのお金が使えなくなります。1500万円というお金があったとしても貧乏に陥る瞬間です。

この本の冒頭で、私が退職金の額をお客さんに聞いた時の会話、  
「さあ、先輩の話だと、2000万円か2500万円くらい」  
この500万円の違いが、ここまで本書を読み進めて頂いた今なら、誤差ではなくとても大きな数字に感じられませんか？  
(この500万円があれば、あれもできるし、これもできる。生活費はこれだけ楽、こんな風にもし感じて頂けているのならば、ここまで金トレは成功しているということですので安心してくださいって結構です。)

## ●笑うホームレス・泣きそうなサラリーマン、幸せなのはどっち？

ところで「悠々自適」とは、一体、どんな状態の事をいうと思いますか？

実はこれ、言ったもの勝ち！ 「オレ、悠々自適だ」と言ったらあとは自分が納得していたらいんじやないのかと思っています。もちろん最低限、飢え死にしないだけの収入や貯蓄は必要です。でもあとは、使い方と考え方次第。

大体、自分から悠々自適やってます、という人はあまりいません。ほとんどは周りが、悠々自適そうだと勝手に思っているだけです。「悠々自適ですね」「そうでもないですよ」、普通は、否定する事の方が多いでしょう。でも他人がそう思ってるのなら、いや、他人がそんなことを思ってくれてなくても、とりあえず平穀無事につつがなく毎日が過ごせるのならば、自分自身が「悠々自適」と思っていればいいし、むしろ、自分が納得して満足しているかどうかの方が大事。それは決してお金の額とは関係ありません。1万円で納得する人、100万円で充分な人、1000万円でも不安でいっぱいの人、などなどお金の額とは全然関係ありません。

実は、これに私が気づいた、大きなきっかけがあります。少し古い話です。

時代は、平成10年～15年頃の話。銀行が破綻したり保険会社が破綻したり、どんどん統合され、駅前周辺にはあちこちでホームレスがあふれていた時代です。「窓際族」から「窓際でも」に変わった時代でもあります。

バスに乗っていました。朝の出勤時間です、冬の寒い日でした。

バスが進んでいくとある公園の隅で、ホームレス数人が一斗缶を囲んでたき火をしていました。「あーホームレスだなあ」と思いつつ、彼らの顔はもの凄く清々しい笑顔。「何が楽しいのか知らないが楽しいんだ」。見事なまでの笑顔でした。

片や横目で見る、バスの中のサラリーマン、皆さん苦しそうな顔をしています。

この頃、後輩と喋っていたことがあります。

「あっちこっち銀行が統合されたけど、年収1500万円くらいの人が、年収1000万円になっている人なんて相当いるんだろうねー。それでも俺らの2倍くらいありそうだけどさ」

「そっか、そういう人は、年収1000万円でも、きっと、ものすごく侘びしいんでしょうね。泣きそうに辛いんでしょうけど、『ローンがあるから辞められない』って。でも今、僕らが年収1000万円になると思ったら相当贅沢できますよね。」

これによく似た例は銀行再編にとどまらず、その後も続いています。

まさかこれほどの会社が倒産したり、大手航空会社が倒産したり、電力会社が大変

な事になったり、絶対安心だった公務員でさえ、突如給料カットや退職金削減にあって、退職日1ヶ月違いで大違い、ということになったり。

でもって、「それはそれ、これはこれ」で無理矢理にでも納得できる人は良いのですが、「いつまでもブツブツと文句タラタラの人」が、世の中結構います。それ楽しいですか？自分で早々に解決できない問題・手の届かない問題なら、早めに心を切り替える事をオススメします。

笑っているホームレスと泣きそうなサラリーマン、どっちが幸せなのか？皆さんはどうが幸せだと思いますか？

私がお金って何だろう？いくらあれば幸せ何だろう？私はいまだにこの疑問を抱きつつ、今も仕事をしております。

## ● 「普通の生活と余裕ある生活」を誤解している人が多すぎる

年金関係の雑誌記事なんかを見ると「最低日常生活費」「ゆとりある生活費」なんていうデータが出ています。

このデータを持って、保険の営業の皆さんは「年金保険入りませんか？」と勧めているわけです。それに「年金制度自体が不安だし」ってのも相まって、みんな年金保険に入ろうと思うのですね。

でもこの中身！ みなさん、「ゆとり=旅行とか遊び」だと考えています。

皆さんはどうですか？

年金 15万円でも 20万円でもいいですが、そこから、例えば、電気製品の買い替え、自動車の買い替え、家の補修、とか考えていますか？

「車そろそろ買い替えたいなー、無いと買い物無理だし、病院だってバスと電車では無理」

余裕ある生活費を日常生活しか考えてないと、耐久消費財は買い替えられない！

——これ余裕ある暮らしじゃなく、【普通の生活さえできない】ってことですっ！

車以外に、家の修理・リフォーム、子の結婚・孫の誕生、親の葬式・法要、自分の入院—— こういうのを積み重ねると、本当に余裕のある老後ライフプランが出来上がります。

老後を豊かに、楽しく笑って迎える老後にする！ そのためには、ストックとフローの両方を見ながら、一万円は一万円、百万円は百万円、それぞれのその大きさが確実に分かるようになってもらわないと話ができません。

でもそうじゃないところで、不幸になる人も、大勢・目一杯いるのが世の中なのです。

実は一万円・百万円よりも、「去年の人より退職金が減った」とか、「今年から税金が増えて損した」とか、こういうことで不幸になってしまふ人が結構いるのです。それを見てみましょう。

**▲金トレ 6 ▼** ~偏差値世代の落とし穴~ 相対評価より絶対評価！  
凡人は偏差値を、賢い人は合格点に注目する

### ● 「平均的な貯金を平均的に使う」と、幸せは逃げていく！

老後設計の話をする前に少しだけ住宅ローンの話をします。

私のお客様の中には、住宅ローンで来られる方もいます。そんな方々の中には、

「平均的な家の価格はどうなっていますか？ 皆さん、どれくらいの価格の家を買っているんでしょう？」

と質問をされる人がいます。もちろん、他人がどれくらいの家を買っているのか気になる気持ちはよく分かります。でもそこで私が、

「じゃあ貴方は、平均的な貯金を持っていますか」

と質問したらどうなるでしょう？ そんなことを言うと二度と私のお客様になって

くれないと思うので、そのような意地悪な質問はしませんが「平均的な家、平均的な貯蓄額、平均的なローン年数」どれもその人にとっては全く無意味な数字です。住宅ローンで言えば、きちんと返せるかどうか、そのためにどれだけ犠牲（あるいは我慢）をしなければいけないかどうか、だけです。

その犠牲や我慢を引き換えに大きな家を手に入れる。その家で住む事の幸せが、他の我慢したことより大きな幸せにならないと、「あーこんな大きなローンを組むんじゃなかった」と後悔する事になります。

同じ事が「平均的な退職金」を「平均的に使う」という事にも言えます。“平均” = 他のみんなは、と捉えてしまうと、“なんで自分は”と考えてしまいがちで、これはすなわち、他人と比較して、喜んだり嘆いたり、そんな所に注意が向いてしまう生活に陥ってしまいます。

他人と比較すると、実に人生がつまらなくなります。幸せが逃げていきます。

### ● 「アイツより 1万円」、比較した途端に「残念な人」に仲間入り

現役時代に、「なんでオレはあいつより、3万円給料が少ないんだ！」などと思ったことはありませんか？ あるいは、「年下のあいつの方がオレと給料が同じなんて」とか。

年金生活でも同じです。「お隣さんは、オレより年金が多いらしい」「あの人は5万円多いと思う」、「健康保険が3割負担だって、年金多いんだ」。こんな比較で嘆いたり、逆に、喜んだり—— みなさん器の小さな人間です。

アイツより一万円！ こんなことを考えたとしても年間にするとたったの 12 万円。アイツとの差がたった 12 万円！ 年収で言えば 500 万円と 512 万円の差で、ものすごく不満に思って、毎日、ブツブツ・文句タラタラの人が結構います。アナタの価値はそれくらいのものなのですか？ 他人から見れば「ドングリの背比べ」です。

ここしばらく、失われた二十年とやらで、「主人がリストラされて生活苦です、ローンが払えません・教育費破綻しそうです」、こんな相談が増えました。

そこで皆さん誤解されているのですが、

リストラされたから生活苦 ×

リストラされたけど、次の就職がないから生活苦 ○

リストラされたけど、転職で賃金ダウンだから生活苦 ○

皆さん微妙に誤解されています。これはつまり、今まで貰っていた給料が相場以上だったということです。当人自身が本当に、実力がありスキルがある人は、どんなときでもそれなりに転職できているものです。

これは、数々のリストラされた企業・希望退職を募った企業すべてに言える事で、会社の経営体力以上に賃金を払っていた結果という事でもあります。大企業だから「大丈夫」と経営陣も労働者も思っていただけです。中小ならとっくに倒産してる、でも、大きいがゆえに先送り出来ていという結果。

不動産で例えると、バブルの頃は 5000 万円した家が、今は 3000 万円。相場が下落しているのに、5000 万円で売りに出して買い手がいない、それを愚痴っているのと同じです。

もっとも高度成長期以降、バブルが弾けてしばらくするまでは、“リストラ”という言葉自体が新語がありました。“窓際族”という言葉もありませんでした。ひと言で言えば「企業も自分も、こんなに景気が悪くなるとは思っていなかった」ということ、「正しく対処できなかった」ということです。現在の景気は、底は打ったと言うものの、高度成長期ほどの力はありません、当分無い可能性も大きいです。

そんな中で、「アイツより一万円」などと考えて不満に思っていると、幸せな人生はますます逃げていきます。ここでも、一万円は一万円としっかり確実に捉えること。その上で、そんな事よりも、自分はどう生きたいか？ どんな風に幸せになりたいか、の方を考えた方が、数段幸せになれると思います。

## ●見栄のお金はすべて無駄！ 絶対評価でコガネを作る

何度も高級車の話をして申し訳ありません。第一章の冒頭で、「高級自動車が買えなかつたのはどうして？」と質問しましたが、この時、即答で「そんなもん、必要なかつたからさ」と思った人は大丈夫です。

自動車の機能として高級である必要がありますか？

自分や家族が乗る車で、人や荷物を運ぶという機能とは別に“高級”でなければならぬことは、まずありません。ほとんどの場合、見栄です。

もちろん見栄じゃなく、別の理由、例えば、衝突事故を起こしたときの安全性で高級自動車を選ぶ人もいるでしょうし、販売会社に勤める知人友人のノルマで選ぶ人もいるでしょう。

でもほとんどの場合、お隣さんから、「あら、あんな良い車に乗ってるんだ（羨望の眼差し）」これが欲しいわけですね。

同じような例をあげれば、クレジットカードのゴールドカードやプラチナカード。年会費1万円とか3万円とか、プラチナカードだと年会費10万円を超えるものもありますね。これらと年会費がタダあるいは数千円のクレカと比べて機能はどうなのか？モノを買う時の機能は同じです。違うのは、それなりのサービス＝それなりのお金を使った時の違いです。基本、がんがん使ってくれる人はもう少し上のサービスを差し上げますという商売。でも、がんがん使わないので見栄で持っている人も多いと思います。これもカードを取り出した時の「羨望の眼差し」が欲しいわけですね。この目的のために、ゴールド・プラチナカードをわざわざ持っている人も多いと思います。

高価な物が良い物の法則、そろそろ抜け出さないといけません。そうでないといぐらお金があっても足りません。徐々にそういう人は減っているようには思うのですが、まだまだ、ブランド・看板・銘柄などに無駄に固執している人が多いと思います。

ただ私も、見栄がすべて無駄だと思っているわけではありません。

ファッション、化粧、身だしなみ、この延長で自家用車を選ぶ人も大勢いると思います。もし、車そのものが好きで、自動車のこと語らせたら半日は喋れるぞ、などと

いう車が趣味の人は、可能な範囲内で好きな事にお金を掛けた方が、つまらない人生よりもよほど楽しくなると思います。

プラチナカードにしても、お店探しの相談に乗って欲しいとか、万が一困った時にサービスセンターに相談できるお守りだ、と思う人もいるでしょう。

お客様相手の仕事をしていて、そのような服装や自動車やカードを見せないと信用を得にくい仕事の人もいるかもしれません。

でも、そんな自動車の出費やカードの出費がお小遣いの範囲の人、つまり、フローが多い人は結構ですが、年金額になるとフローは減ります。だから、「もっと安いのにしておけば、他に使えたのに」と思うことになります。

そうです、“他に使えたのに”、これを集めればコガネが出来るのです。だから、フローとストックの管理が必要なのですね。金トレ1でやった「『全部でいくら！』が気になるストック型人間」、これをを目指して欲しいわけです。

最初の金トレ1で、フロー型人間の特徴は「節約！得する！損しない！」に敏感だと書きましたが、

——毎週100円得×1年53週。5300円です。

この日々の節約努力で、別の新しいモノが買えるのは5300円分。——

これ、可能性が増えるのは5300円です。

それより、ゴールドカードをやめる方が効果があります。

まあ、同じような例だと、「ベンツで格安ガソリンスタンド・激安ショップ」とか、今どき流行りませんが「毛皮・宝石・腕時計」なんて時代もありました。みんな「一生モノ」なんていう言葉に弱いんです。でも一生モノのものってのは、それだけお金をかけてメンテするから一生使えるんであって、何にもしなくて一生使えるものはありません。(一生モノは、「男の友情」と「女性の品格」だけで十分。あと「教養」があれば尚よろしい、と思います)

もし、アナタが財布にお金があるし買える！ と思うようなら、それは子どもがお菓子やおもちゃ買ってよ、とねだっているのと同じです。オトナだったらもう少しレベルアップして頂きたい。そうでないとお金に対して失礼です。是非ともお金を上手く使ってください、そうしないとお金の方から逃げていってしまいます。

## ● 「いつもと同じ」から「ステップアップ」で、充実感が倍増

同じ事をするのであっても、ほんの少し変えてみる・チャレンジしてみる、アレンジして変化をつける。これだけで人生1割アップです。10回やれば10割もアップです、10割もアップすれば、人生2倍です。お得だと思いませんか？

あちこちいろいろな老後を送っている人を見ていて残念だなと思うのは、いろいろ違う事をするけど続かないという方が結構いるということ。ご本人が満足しているのならそれはそれで楽しい事だと思いますし、それがカルチャーセンターに通うくらいなら、そんなにも大きなお金でもないでしょうから、むしろ多くのことにチャレンジする気持ちを見習うべきだな、とは思うのですが、同時に、お金の使い方としてはちょっともったいないかなあ、とも思うのです。

テレビや雑誌で話題になった商品や観光スポットを試してみる人、こういう人は多いです。それが趣味ならそれで良いと思うのですが、私はあまり羨ましくありません。むしろ、いつもそればかりなら、「またそのパターン」と思ってしまいます。「また、もったいないお金の使い方をしてますね」という感じです。

逆に、羨ましいなあと感じる暮らしをしている人は、何らかのステップアップ・向上心を常に持っている人、それにお金を使う人です。向上心といつても大きなことはありません。野菜作りなら、この野菜の苗は初めてだけど植えてみようとか、料理好きならこの食材一回使ってみようとか。酒好きだったら、吟醸酒飲み比べようとか、ウィスキー飲み比べようとか。そりやもう些細な事。

些細な事であっても、それを他人に話せるくらいには知っている・実行している。こういう人は見ていて羨ましく思います。それだけの時間とカネと情熱を掛けられる人はとても羨ましく思っています。

「いつもと同じ」ことをしていれば、充実感は満たされません。私が会社員時代の飲み会を後悔しているのと同じ。あるいは、例えて言うと、いつも結果が分かっているゲームと同じです。

結果が分かっているのに楽しいわけがありません。まあ私もこの歳になってもまだテレビゲームをしたりしていますが、最後のステージにまで到達してゲームをクリアしても、だんだんと達成感はあっても充実感が減ってきます。だから、もう少し大人にならないといけません。（ゲームを買うくらいの力はある、時間もある、でも充実感がない、これは無駄な人生です。情熱が減ってきました、もう少し、大人の趣味を見つけるといけません。反省します、はい。でも、特定の分野のゲームならそれなりに語れますので許してください。）

### ▲金トレ7▼

### お金の自律神経を鍛えて「お宝発見！」

宝物が多い人ほど幸せに♪

## ● 「買った、嬉しい、もう飽きた！」こんなお金は死んでいる

買う時は結構自分で盛り上がっているのに、持つて帰る途中でもう熱が冷めたりとか、一度使っただけで熱が冷めたりとか、正直に書くと、私があまり人の事は言えません。もったいないお金の使い方ですね、はい。

季節の狭間のバーゲンセールで、ジャケットとかの衣料品が大安売り。しかし季節の狭間であるが故に、次のシーズンには買ったことさえ忘れているなんて、まあ、こんなこともあります。

物を買う時のこと、綿密に思い出してみましょう。どの瞬間が一番嬉しいですか？いろんな商品を見たり、ネットで調べたり、高額品なら合い見積もりを取ったりいくつかのお店を回ったり。その結果、これだ！と決めて、お金を払う時。この時が一番嬉しくないですか？今まで他人の物だった所有権が、この瞬間、お金を払った瞬間に自分に移るからですね。

これは現物の商品を実際に購入する場合の話。

でも時代はインターネット。今や、ネット・ショッピングは当たり前。

## ネット・ショッピングの利点は、

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| (1) 家にいながら、商品を選ぶ   | →ワクワク感   |
| (2) その場で財布を出さずに買える | →高揚感・優越感 |
| (3) 商品が届くまで        | →ドキドキ感   |
| (4) 届いた時、開封した時     | →満足感     |

これにさらに(5)今だけ限定、今だけ安いなんていうのが付くと、ついうっかりクリックしてしまいますよね。しかし最大の問題は、この商品が届くまでのタイムラグ、(4)です。この時には、もう飽きた！別のお店で見つけて買っちゃった！なんてことがありますか、アナタもきっとありますよね。

こんなお金は死んでます。無駄です。いくらお金があっても足りなくなります。私も反省しなければいけません。私の場合、中古本をインターネットで買って、そのままツンドクになっているものが多数あります。(取りあえず、月1000円までに限定しています。)

## ●豪華な旅行は、誰でも3倍美味しくできる

私の住んでいるところは京都市内です。電車に乗っていても観光客をよく目にします。見るからに、「私たち、定年後の夫婦の旅行です！」、という方もよく見かけます。「なんでさっきあんなお店に入ったのよっ！折角京都に来ているのにっ！」、こんなことを言って喧嘩している観光客らしき年配のご夫婦を見かけたことがあります。こんなチョイ喧嘩している夫婦、珍しくありません。

夫 → たまには連れて行ってやる、有り難く思え！

妻 → まあ、たまには良いか、

こういう気持ちの時に、“上から目線”的行動を取られると奥さんが激怒する、と勝手に想像しています。かなり当たっていると思います。

折角の京都旅行、お金使っているのだから楽しく使ってください、お金に失礼です。京都に限らず、国内、いや海外であってもどこであっても、旅についていえる「価値を三倍にする方法」があります。

「旅は、(1)計画するところから始まり  
(2)道中の出来事を楽しみ  
(3)それを、誰かに『こんなだったよ』と伝えて、  
旅の行程が完了する」

でも世の中にはこんな旅が出来ない人も多いです。今では、ネットで簡単に情報が手にはいるだけに、わざわざ他所に行く事に価値を感じない人も多いですし、たとえ、旅行するにしても、

「連れて行って貰うだけ・お土産買うだけ・行ってきたと友達に言いたいだけ」  
「宿で寝ること、食事がでてくること（だけ）が嬉しい」  
という人もいます。

—— これはちょっと、もったいないお金の使い方です。

上の(1)～(3)、本来は一粒で3度美味しいのが旅。あえて(4)を書くとすると、それを思い出してニヤニヤする。これもできれば4度美味しい旅になります。

さらにこれをもっと美味しくさせる方法があります。それはその地の「歴史と文化（あるいは伝統）」を知る事で、それを実践している人の旅は実に中身が非常に濃くなります。

——同じ10万円の旅行でも優雅なわけ、同じお金が何倍にもなっているのです。

「計画→道中の出来事→誰かに『こんなだったよ』と伝えて行程が完了」。最後に分かち合う人が必要なのですね。心理学的に言うと、“他者からの承認”、つまり、認められるということです。これがないと満足しない不完全燃焼になってしまいます。

分かち合う人がいない場合は、「はい、お土産」と強引に相手に認めさせる行為をとってしまします。同じお土産でも価値が違ってきます。

まあ、千円・二千円程度の「なんとか煎餅とかなんとか饅頭」で、とやかく言う事ではないかもしれません、京都駅構内の土産物屋の買い物風景を見ていると、そんな無駄なお金で無駄な好意を押しつけているんじゃないかな、と印象を持つことが多いのです。

## ●豪華でない旅行も、3倍美味しくできる

「京都行ってきたよ、はいお土産」

これ、普通のパターンの旅行です。さらに普通は「お寺を見て、京料理食べててきたよ♪」付きです。でも最近は体験型が人気らしいです。「京町家に泊まってきた」「農業してきた」「陶芸してきた」「舞妓さんの格好してきた」「座禅組んできた」などなど。

逆に非体験型という楽しみ方もあります。

これら同じ旅でも価値が異なる例をいくつか簡単にあげてみます。

「フェリーに乗っている時間、船の中以外には行けないし、特段にすることもないし。でもこのちょっとゆっくり流れる時間が好きなんだよね～。優雅な時間を買った気分になる」

—— こんな事を言っていた先輩がいました。

「プライベートビーチのある沖縄のホテルに泊まって、子供達は海に入って大喜び、でも俺はクーラーの効いた部屋でのんびり。」

—— こんな事を言っていた友人がいました。

「スキーツアーって最近格安じゃん、あれに申し込んであえてスキーはしないのが俺の旅行。好きな本を数冊持つていって、スケッチしたり、雪の中を散歩したり。温泉に何度も入ったり。めっちゃ優雅な気分になるんだよね」

「家から30分で行けるんだけど、超高級ホテルで1泊するのが楽しみ♪ サービスがよくて、なんか金持ちになった気分。年一回のご褒美♪」

「金曜の晩から高級車をレンタルして、高速を飛ばして、1泊だけして帰ってくる。」

—— こんな事を言っていた人もいます。

まあ旅行にはいろんな楽しみ方があるんだなあと思ったりするわけで、私の場合はどちらかというとピンボーキ旅行です。でも私の場合の「旅」は、行き先を決めていない「旅」です。

今夜の宿が決まっていない旅行なんて、もの凄い贅沢だと思っています。

でも人間（というより庶民）は、つい、お金の額で何事も測ってしまいます。悲しい性（さが）です。「10万円だったから贅沢旅行だ」とか、「3万円で往復できてもの凄いお得だった」とか。

体験型という観点も、非日常という点で3倍楽しめます。これはこれで大事な事なのですが、でもそこで、あえて非体験を選択するという贅沢も「予定無し=旅先での無限の選択、究極の自由度、非日常の連続♪」、3倍楽しめます。

掛けた金額にかかわらず、「体験型」「非体験型」という旅行の贅沢。もの凄く“ぜいたく”だと思いますか？

## ●青春・思い出・恋愛・子ども・・・宝探しゲームがはじまった

旅行というのは、ほとんどが思い出に繋がって、一つの宝物になると思うのですが、人生の宝物は、当然、旅行だけとは限りません。趣味もあれば、子どもや友人という対人的なこともありますね。アナタの人生の宝物は何でしょうか？アナタはどんなときが幸せですか？

こういう宝物が多い人ほど、豊かな人生だと思っています。

定年退職のご相談だと、「今まで忙しすぎました。もう、ゆっくりするだけで十分です」、こんな事をおっしゃるお客様も少なくありません。人生は、やったもん勝ち！です。やらないともったいないです。宝物を一杯作ってください！

- ・友だちとの交流が嬉しい、逆に、一人で好きな事をしている方が嬉しい。
- ・少しだけでも社会に役立つ事をしてみたい、誰かのためにになりたい。
- ・趣味を極めたい、コレクションを充実させたい、好きな作家の全集を読んでみたい、

——人それぞれにいろいろな幸せ要素があると思います。

どうしても、幸せ要素が分からず人が時々います。

人生の60年と言えば、いろいろな面で、「経験有り、人脈有り、金有り」です。足りない部分は今からでも間に合います。その時、何が幸せか？　何が宝物か？　図にしました。

## 幸せの本質、五つの要素

© ライブリッド・プランニング



この図の中のそれぞれに、「俺はこれいらない、これは残したい」、こんな優先順位を付けるだけで、幸せな人生になります。逆に、優先順位がないと、絶対に幸せにはなりません。なぜかというと、優先順位がないと言う事は、好きな事がないというのと同じですから。だから、中途半端な人生になります。

自分はこれを大事にしよう、そう考えるだけでも大丈夫。その部分だけは多少、お金をかけて、他のどうでも良い事はお金を使わないようにする。このメリハリだけで、お金の使い方は随分と違ってくるはずです。

## ●お金の自律神経を鍛えると、満足な生活がやってくる

ニュースを見ていると、“お前恥ずかしくないのか”的事件が良くあります。

警察官が借金のために盗みを働いたとか、銀行員が秘密の高利率の預金がありますと詐欺をしたとか、みみっちい金額の賄賂を差し出したとか受け取ったとか—— オトナのすることかっ！

お金は使うモノであって、お金に使われちゃいけません！

一時期、「大人買い」という言葉が流行りました。オマケの付いている食玩で、入荷して店頭に並んだばかりのやつを箱ごと買う、お金を持っている大人しか買えない「大人買い」。とても大人げない買い物です。

まあ、それが小遣いの範囲で買えるモノなら私がどうこう言うべきではありませんが、世の中には、借金しても、時には人を騙しても、お金を手に入れたいと思う人がいるようです。

やっと退職したし、ちょっとくらい趣味に——これ自体は良いのです。でもそれが適正範囲かどうか、ここが一番の問題です。というのは第一章で書いたように、「大金だ感覚」がズレている人が結構いるからです。

退職金で思い切って、数百万円！ このレベルになると簡単に良いですね、とは言えません。むしろ、しっかり計画されてますか？ と言いたくなってしまいます。

時と場合によって価値が変わる“一万円”を最大限に有効に使うこと。

どれだけ自分をコントロールして、お金を使えるか。どんな使い方が自分にとって有意義か。とりわけ、フロー型人間は毎月の家計、もっと言えば、今ある財布の中身しか気にしていませんから、感性が慣れていません。

1万円でも、10万円でも100万円であっても、それぞれのお金をそれ以上の価値で使えばお金が増えたのと同じ事です。それが【お金を自律させる】ということです。そのためには、どう使うかを真剣に考えることで、それは自分を自制することあります。

私がライフプランを作る時は当然ながら、できるだけご本人のご要望に応じて作ります。後々少々苦しくても、それだけの価値があると考えるか、むしろ、するのは今しかないと考えるか。それをお聞きして質問して、お客様の方も、やっぱり予算半分にしておこうとか、代わりに、もうちょっと働くとか

—— 皆さん悩まれますが、悩んでこそ価値あるお金の使い方、お金を自律させ、かつ、自分は自制することで、自分らしい満足な生活が可能になる、最大限幸せになれる、と思っています。

### ▲金トレ8▼ もっと「心の余裕」を増やす、カネの使い方

## ● 「作る・育てる・目に見える」、形が見えると愛あしい

幸せそうな老後を送っておられる人を見ると、その人の何が幸せそうにさせているのか、ついつい観察してしまいます。

「作る・育てる」ことをしている人は幸せな人が多そうに見えます。いくつかの例をあげるとすると、家庭菜園や庭いじり、花壇・ガーデニング。他にはカルチャーセンター系だと、陶芸や絵画、俳句や川柳など、いろいろありますね。

野菜作りは、手を掛ければ掛けるほど正直に育ってくれます。そして、成果が実となって表れます。園芸系も同じですね、綺麗な花が咲けばもちろん嬉しいし、ダメであっても次は頑張ろうと元気にさせてくれます。

文化系で作る事といえば、手芸や絵画・俳句などがありますが、これらは、素材・材料・テクニック・歴史などなど、自分の興味をどんどん広げられる上に、それを知ってさらに自分が成長できるという、“自分で作る”になります。そしてそれが最後、自分の作品という形にもなります。

体育系で形を残す人もいます。年齢とともに無理は出来ませんから、ゴルフのスコア、マラソンのタイム、百名山踏破が一般的でしょうか。

これらには共通点があります。

成長が目に見えるモノ。自分の手がけているモノの成長もあれば、自分自身の成長がわかるモノ。こういうことをしている人は、皆さん幸せそうです。

こういったものにどれくらいお金を掛けますか？

あまり掛からないものもあれば、大金がかかるモノもあります。私の知っている人の中には、陶芸の窯を作った人とか、金魚や鯉にお金を掛けた人もいます。他にもいろいろいろいろあるでしょう。

掛けたお金以上の満足感と生きがいが得られるのならどんどんお金を掛けた方が、楽しい人生になります。さらにそれ以上の「価値」が得られるものなら、なお一層楽しい人生になるでしょう。一万円は一万円、百万円は百万円、使う場所とタイミングで「価値」が変わりますから、最大限にして有効に使うと楽しい老後がやってきます。でもこれがなかなか難しいのですよね。

## ● 「愛でる・哀れむ」、心の余裕、大人の使い方でお金を活かす

ペットブームです。“ペット命”的ご家族、少なくありません。私の実家も一匹柴犬がいますが、家族同然です。こういうのは「愛でる」対象ですね。

中には、“孫”が愛でる対象の人もいるんじゃないかなと思います。先ほどの野菜や花作りもある種の愛でる対象かもしれません。こういう対象を持っている人は、幸せそうです。心の余裕がないと出来ないからですね。

「哀れむ心」、これは、どこかの国の難民を哀れむというのもあれば、もっと身边に「あいつは、再雇用で時間が無くてカワイソウだなあ」と哀れんだり、逆に「あいつは、再雇用しなかったから小遣いなくてカワイソウだよなあ」と哀れんだり——これ、逆だと「あいつ羨ましい」になります。羨ましいと思った方が負け！

愛でたり、哀れんだりする心の余裕、これはかなり大事なことです。金トレ6で「相対評価より絶対評価」・見栄で大切な力ネを使うなど書きましたが、「アツイはこんなのが買えないだろう」的見栄の使い方をする人が少なくありません。「こんなの買えなくてカワイソウ」「向こうがウラヤマシイと思っているはず」なんて、愚の骨頂です。愛でたり哀れんだりするのは、あくまでも自分自身ですから、そのところは間違え無いようにしてください。他人なんて気にしなくて結構。自分を見失ってしまいます。だからまずは、自分が楽しむ事。問題は何が一番楽しいか、です。

ただ、ペットも孫も、どちらもお金を掛けようと思えばいくらでも掛けられます。それだけに「全部でいくら」の感覚はなくさないで頂きたいと思います。お金の自律神経を失ってはいけません。幸せの対象である愛する対象が、逆に不幸要素になってしまいます。

## ● 「ほどほどに満足」を長く続けて、「通過点」を楽しんでみる

退職したとたん、あれするぞ・これするぞ、と頑張ってしまう人がいます。これ自身はとても良い事だと思っています。

例をあげると、一度病気して大手術したけど、スポーツクラブに入って体力作りして、いよいよ来年くらいにホノルルマラソンとか、百名山を順番に登ってますとか、四国八十八ヶ所霊場回ってますとか。

目標を決めて、それを達成することこれは良いのですが、目標が達成できると気が抜けてしまう人がいます。燃え尽き症候群ですね。

やっている時は無我夢中で楽しいのです。でも終わった途端に気が抜ける。これを避けるにはどうすれば良いか？ こういう時には、偉い人の言葉が役立ちます。

スポーツに限らず、いろいろな分野で賞を取るような凄い人、春や秋の叙勲を受けるような人のコメントを見ると、皆さんこう言われます。「これを励みにこれからも・・・」と続ける人が多いです。アスリートとか野球選手がいろいろな凄い記録を出しても、いつも通過点。

だから頑張るのは良いのですが、その過程を楽しみ、目標もひとつの通過点とすること。むしろ大きな目標より、小さな目標を一つずつクリアしていくイメージの方が良いと思います。そうすれば、人生が生き生きしてきます。

幸せな要素は何なのか？

(1)「趣味」の人もいれば、(2)「家族」の人もいる、(3)「あらたなチャレンジ」が行動の源となる人もいる。

でも共通して大事なことがあります。「人間性」です。「人間性」を一つずつクリアしていく。この感覚を持っている人は多くはないかもしれません。でも大事な視点です。なぜなら、年齢と共に醜くなる人の方が多いのです。心まで醜くなったら悲しいじゃないですか。

人間性を品格と置き換えても良いと思います。別の言葉だと、教養でしょうか。それも、自分らしい卓越した教養を何か一つでももっていること。これにつくると思います。この教養って言っても、ようは自分の好きなことで、“3時間くらいうんちく語れるような分野”であれば十分。そして、ここ大事なところ、【それを道具に良い人間関係を作れる】ことです。

「人間性」→「品格」アップ→「教養」アップ→それを対人関係の道具にする！

これが出来る人は、ずっと、枯れません。生き生き過ごせます。こう言った事にお金を使うと幸せな人生がやってきます。

一つだけ注意点があります。人間関係と言うとどうしても他人と言葉を交わさないといけないので、嫌われないための注意点です。それは、“過去の自慢話”をしないこと。

だって、“過去の自慢話”って、品格にも教養にも入らないでしょ。でもこれは結構微妙です。実は、過去の自慢話をグレードアップする方法があります。

それは現在進行形にすることです！ 一例をあげます。

・昔は、ゴルフのスコアが70だった。

有名なゴルフ場でプレイした、あそこにも行った。

→これだけだと、単なる自慢話・過去話

・昔のスコアを目指して練習中。今度、ここに行く、

あそこに行く。

→目がキラキラ輝いてくるわけ、羨ましいなあとなるわけです。

自分の人間性でもって、それを対人関係の道具にする。これはなかなか難しいですがこれをやっている人は、いつも幸せそうに見えます。

## ● 「さりげなくカッコイイ～」は、シンプルに

京都に観光に来る人を見ていると、スゴイ格好の人が時々います。しかし、スゴイ格好とカッコイイ格好は違うという事に、最近、気づきました。もちろん、似合ってる・似合っていないというのもひとつの要素です。それ以前に目を引くファッションと

いうのもあります。

例えば、歳のころは、70歳前。真っ赤な帽子に、真っ赤なレザージャケット・レザースカート。「うわあ、頑張ってる」なんていう人。

例えば、白のスーツに、やはり白のミニスカート、一瞬、30代かと思いきや、近づいてみると40代後半。雰囲気としては、キャバクラ同伴出勤前、みたいな感じのカップル。

例えば、サッカーブルー（←サッカー日本代表のユニフォームのような青）で固めた、60歳は越えているだろう一人旅らしき女性。

まあね、ファッショニは気合いだし、自分が好きなように自己主張すれば良いと思うのですが、カッコイイ人ってまた違います。

いつも駅のエスカレータに乗ると、自分の前にいる人のなかで、格好良さそうな人を探してしまいます。まず、まっすぐに綺麗に立っている人はカッコイイです。そんなカッコイイ人がさりげなく発するひと言、これがまた違う。たった一言で品格があらわれる。「嵐山へはこちらのホームでよろしいんですか？」。

まあ、標準的な服装していれば、あとは、背筋伸ばして、言葉遣いを丁寧に。これだけで随分印象変わると思います。少なくとも“上から目線”的言葉、現役時に上に立つ立場だった人ほどなりがちという話ですが、こういう人はダメです。「実るほど、頭（こうべ）を垂れる稻穂かな」を教えてやりたくなります。

格好がシンプルなほど、その人の品格が試される。その時に格好良さが映えてくる、と思っています。思ってはいるのですが、自分はなかなかですね、はい。

では、次の第三章、いよいよ年金生活の設計法です！

繰り返しますが、1万円を捨てているようではいくらお金があっても足りません。贅沢すればするほどお金は消えて無くなります。現役とは収入が違うのですから、いかに上手く、有効に使うのか、この視点が最大のポイントになります。それを上手くやる人ほど、人々自適の老後がやってくるって訳。アナタも是非、人々自適な老後設計やってみてください。